



環境配慮契約での産廃処理契約の 検討状況について

令和7年度第2回環境配慮契約基本方針検討会

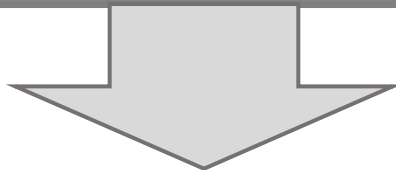
令和7年10月16日
環境省 環境経済課



産業廃棄物の処理に係る契約に関する検討



- ◆ 現行の産業廃棄物の処理に係る契約は、温室効果ガス等の排出削減、適正処理や再生利用の能力・実績※等を考慮した事業者選定を裾切り方式により実施
※ 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者認定制度の優良基準を活用
- ◆ 他方、我が国においては、昨年5月に脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組を一体的に促進するための「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律（再資源化事業等高度化法）」が公布されるなど循環経済への移行が進められているところ
- ◆ また、第5次循環型社会形成推進基本計画においても循環経済への移行を前面に打ち出しており、「循環経済」を将来世代の未来につなげる「国家戦略」として位置づけているところ
- ◆ こうした資源循環の取組、循環経済への移行を促す施策等を環境配慮契約に「取り込む／反映する」 ことについて検討が必要なタイミングとなっている



- **産業廃棄物の処理に係る契約**について、ネット・ゼロ、ネイチャーポジティブとの統合的施策としての循環経済への移行に向けた最近の動向を踏まえ、必要に応じ、資源循環に係る**懇談会又は研究会等を設置**し、検討してはどうか

提案募集での事業者からの提案に関して

○提案募集とは

基本方針の毎年の見直しに際し、事業者等から新たな技術開発や普及の進展により更なる環境負荷低減が見込まれる先端的な製品・サービスの需要拡大に寄与する提案を募集。毎年5～6月あたりに約1か月間募集しており、今年は5/1～6/2で実施した。

○結果

1事業者から産業廃棄物処理に係る契約に関して提案あり。

○提案内容

入札時の評価項目に、外部評価（CDPスコア※1、SBT認定※2状況）、焼却処理の有無※3を追加。

※1：Carbon Disclosure Project. 気候変動、水資源、森林の取組に関する企業の国際的な開示基準。質問票への回答により、CDPが企業の開示内容に関して8段階のスコア評価を与える。

※2：Science Based Targets. パリ協定が求める水準と整合した企業の温室効果ガス排出削減目標であり、企業の温室効果ガス削減を可視化するもの。

※3：焼却をしない処理方法を基本として、焼却する処理方法を選択する場合は、理由を明記させる。

資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の概要

第213回通常国会で成立
令和6年5月29日公布
令和7年2月1日一部施行



- 令和6年3月15日に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案」について閣議決定し、第213回国会で成立。
- 本法においては、**脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組を一体的に促進**するため、**基本方針の策定、特に処分量の多い産業廃棄物処分業者の再資源化の実施の状況の報告及び公表、再資源化事業等の高度化に係る認定制度の創設等の措置を講ずる。**

基本方針の策定

- ・ 再資源化事業等の高度化を促進するため、国として基本的な方向性を示し、一体的に取組を進めていく必要があることから、環境大臣は、**基本方針を策定し公表**するものとする。

再資源化の促進（底上げ）

- ・ 再資源化事業等の高度化の促進に関する判断基準の策定・公表
- ・ 特に処分量の多い産業廃棄物処分業者の再資源化の実施状況の報告・公表



再資源化の**高度化に**
向けた全体の底上げ

再資源化事業等の高度化の促進（引き上げ）

- ・ 再資源化事業等の高度化に係る**国が一括して認定を行う制度を創設**し、生活環境の保全に支障がないよう措置を講じさせた上で、**廃棄物処理法の廃棄物処分業の許可等の各種許可の手続の特例**を設ける。

※認定の類型（イメージ）

<①事業形態の高度化>

- 製造側が必要とする質・量の再生材を**確保**するため、**広域的な分別収集・再資源化の事業**を促進



例：ペットボトルの水平リサイクル
画像出典：PETボトルリサイクル年次報告書2023（PETボトルリサイクル推進協議会）

<②分離・回収技術の高度化>

- **分離・回収技術の高度化に係る施設設置**を促進



例：ガラスと金属の完全リサイクル

画像出典：太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン

<③再資源化工程の高度化>

- 温室効果ガス削減効果を高めるための**高効率な設備導入等**を促進



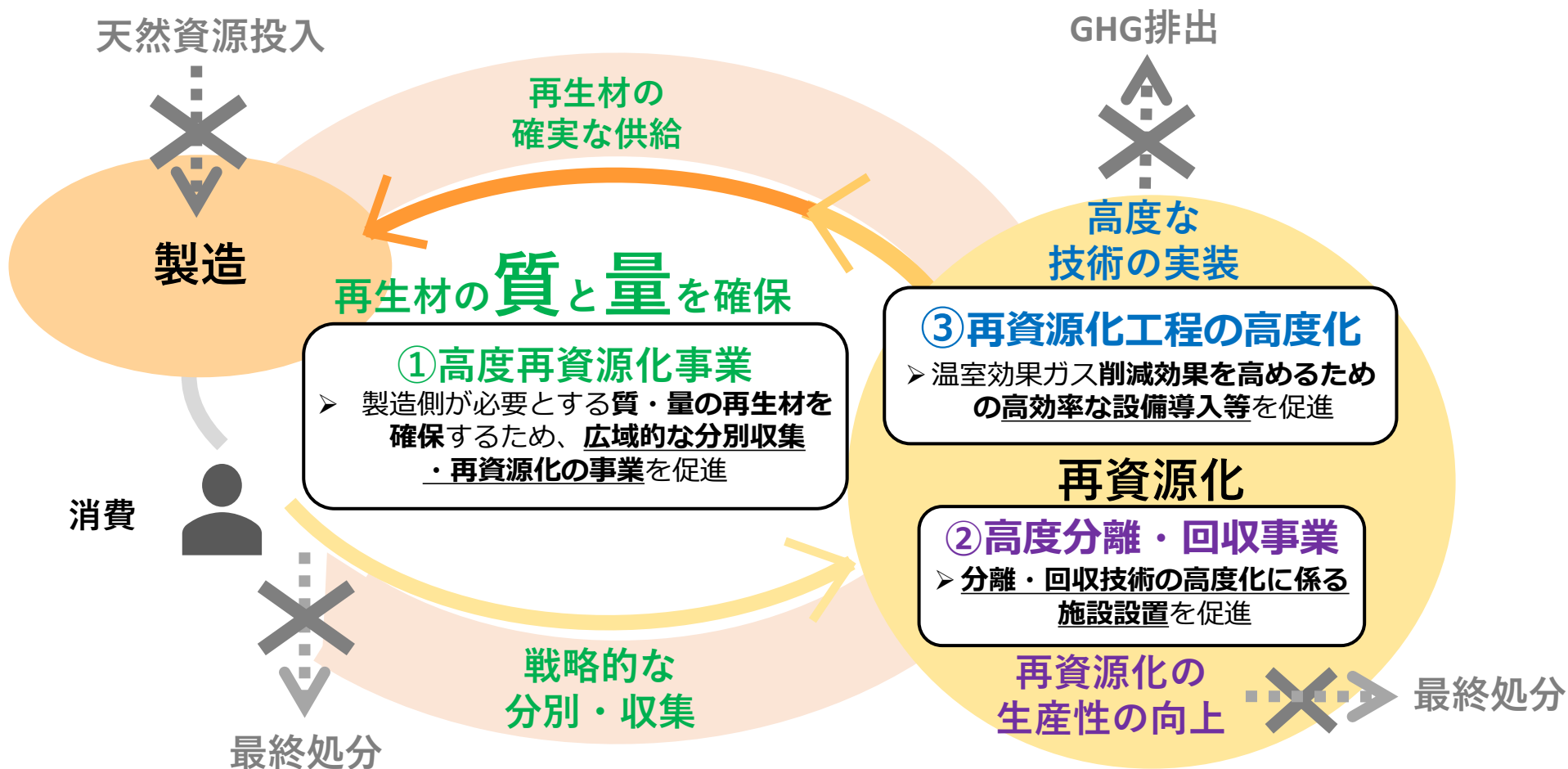
例：AIを活用した高効率資源循環

画像出典：産業廃棄物処理におけるAI・IoT等の導入事例集

脱炭素化の推進、産業競争力の強化、地方創生、経済安全保障への貢献

(参考) 認定制度における各類型と資源循環のイメージ

- 再資源化事業等の高度化の促進を促進するため、**国が一括して再資源化事業等の高度化に係る認定（3つの類型）を行い**、生活環境の保全に支障がないよう措置を講じさせた上で、**廃棄物処理法の廃棄物処分業の許可等の各種許可の手続の特例**を設ける制度を創設。



産業廃棄物に係る契約方式の見直し

再資源化事業高度化法や第五次循環型社会形成推進計画の制定等を踏まえ、評価基準の見直しを検討できないか。

評価項目	区分（評価）	配点例
① 環境/CSR報告書	環境/CSR報告書の作成・公表を実施	10
② 温室効果ガス等の排出削減計画・目標	削減計画策定・目標設定及び公表を実施	10
③ 従業員への研修・教育	従業員に対し定期的な研修・教育を実施	5
環境配慮への取組状況（小計）	—	25
① 優良適性（遵法性）	特定不利益処分を5年間受けていないこと	10
② 事業の透明性	インターネットによる情報公開の実施	10
③ 環境配慮の取組	ISO14001、エコアクション21等環境マネジメントシステム認証取得	10
④ 電子マニフェスト	電子マニフェストシステムへ加入、利用可能	10
⑤ 財務体質の健全性	自己資本比率、経常利益等の財務基準満足	10
優良基準への適合状況（小計）	—	40
合 計	—	75

○評価方法：裾切方式（入札実施主体が評価項目の区分値・配点及び裾切下限値を適切に判断の上、設定）
⇒上記配点例で評価ポイントの満点の60%以上の事業者に入札参加資格を与える場合の裾切下限値は45点

産業廃棄物に係る検討について（スケジュールイメージ）

- 調整状況次第で廃棄物懇談会を今年度末もしくは来年度早いうちに開催予定。廃棄物懇談会にて評価項目等を議論いただき、親検討会に諮り、契約方式の見直し方針を決定。

年度	2025 (R7)												2026 (R8)	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9	10-3
検討会等				○ 親 検討会①			○ 親 検討会②		○ 親 検討会③	 			○ 親 検討会①	
検討事項										・評価基準の見直し ・総合評価の導入検討 ・提案募集			・方針決定	